

## 協議員から出された意見

## 第9回協議会

新聞報道について	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月31日の新聞報道にあった都の見直し案を明らかにした事実はない。取材を受けた事実もなく、報道されたような都案を決定した事実もない。(成田協議員)</li> <li>・新聞報道に関しては、事実関係については把握していない。(大寺協議員)</li> </ul>
宿澤協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞報道された原因を確かめていただきたい。また、住民の人たちが納得できるよう、新聞社へ、訂正記事を発表させていただきたい。(宿澤協議員)</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事が誤報であるなら、抗議するべき。(栗林協議員)</li> <li>・新聞社に抗議をして、その抗議文の写しを出すべき。(新協議員)</li> <li>・東京都がリークしたということはありません。国としてこの種のことがあったのか明確な答弁をし、信頼を回復する努力をしていただきたい。(武田協議員)</li> <li>・11月4日の読売で引用されている行政のコメントについて根拠をこの協議会で示すべき。(米津協議員)</li> </ul>

進め方について	
濱本協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会委員の皆さんが、この協議会についてどのような考えであるのか。基本認識、目的、位置づけ、について聞きたい。(濱本協議員)</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう順番で議論していくか、住民の皆さんとも相談しながら、PIを進めていきたいし、計画ありきで進めようというつもりはない。(大寺協議員)</li> </ul>
渡辺協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみ合った議論をするための運営の方法、議題の整理について考えるために、事務局と協議会有志による話し合いの場づくりを提案したい。(渡辺協議員)</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の進め方をどうしていくかという議論は無駄。この協議会では中身の議論をすべき。(柴田協議員)</li> </ul>
武田協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全協議員の文書による資料要求を集約し、テーマ別に時系列に整理し論議すべき。</li> <li>・価値のある少数意見に耳を傾け、有効な論議を経て団体意志の決定できる会則を考えるべき。</li> <li>・今後の課題として都市更新が主体であって、外環は都市再生の補助手段にすぎない。まちづくり、都市づくりに集中論議を求めたい。</li> <li>・経済意識は非常に悪い。財源はどうなっていくのか。7自治体は何らかの形で負担を強いられるならば、問題である。</li> <li>・具体的な論議は、皆さんがそれぞれのことについて、いろいろの角度から検討しながら意見を出していただくという意味で必要なことじゃないのか。(武田協議員)</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は事前に送付し、会議では要点の説明だけにすべき。(新協議員)</li> <li>・資料が多いので、1度資料を凍結し、きちんと見直しをすべき。(橋本協議員)</li> </ul>

必要性の有無(効果と影響)について	
米津協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関越道～東名高速間の外環道は中央道とだけ連絡して、途中のインターチェンジはつくり、大深度トンネル1本つくればよい。(米津協議員)</li> </ul>
江崎協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の協議会で私が提出した資料「三環状道路と周辺道路の交通量変化」と、伊勢田協議員が出された「外環効果事例」の違いに疑問を抱き、道路交通センサスを使って比較した。</li> <li>・国交省が整備後の効果として広報している情報をセンサスで見ると、逆に交通量が増加している。交通量が増加している原因は誘発交通ではないか(江崎協議員)</li> </ul>

成田協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京の周辺において分散処理して、都市構造の新しい社会情勢に適用したような都市計画をするために計画した。</li> <li>・外環の必要性については、長距離の高速道路と内部に発生する交通との接触点である既成市街地周辺において、両方の目的を果たす役割を求められていたと都市計画審議会で説明。</li> <li>・ルートについては、当時4つのルートを検討し、現在都市計画、決定されているものがその中に提案されている。 (成田協議員)</li> </ul>
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画審議会に関する都の資料は、1999年の都市計画学会で発表された資料と違っている。 (渡辺協議員)</li> </ul>
伊勢田協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会設立に向けた確認内容で話し合うことになっている項目で、まだご提出していない項目を、すべて一通りお出しさせていただくという趣旨で出させていただいた。 (伊勢田協議員)</li> </ul>
大寺協議員の資料	
主張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外環に限らず、広くアセスメントの信頼性を増していこうということで、埼玉外環の例を出させていただいた。</li> <li>・3つの環状道路ができた場合、23区の大型車の走行量が約1割削減、23区の自動車の走行速度が約5%上がり、SPMは年間約400t、NOxは年間約3500t削減される。 (大寺協議員)</li> </ul>
その他	
意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月15日の有識者委員会の結果を次回(11/21)協議会の方へ報告して欲しい。 (江崎協議員)</li> </ul>